

（修正案） 重点戦略「若者と女性に選ばれるまち“日向”未来づくり戦略」

修正後

修正前

4つの戦略	目的	12の重点プロジェクト	数値目標	目標値 (基準値)
未来へつなげる人づくり	未来づくりに最も必要となるのは、故郷を愛し、地域や産業を担い、まちの活力を生み出す原動力となる「人」です。 たくましく生きる力を備え、一人ひとりが自立し、それぞれの持つ力を発揮することができる「人づくり」に向けて社会全体で取り組みます。	①未来を支える「ひょうがっ子」育成プロジェクト	市民アンケート調査（20歳から39歳までの回答者）で「市に愛着や誇りを感じる」と答えた割合	50.0% (47.1%)
		②安心して産み育てるみんな子育てプロジェクト ③ふるさとを愛する心豊かな人づくりプロジェクト	合計特殊出生率	1.83 (1.81)
活力を生み出すにぎわいづくり	若者や女性が魅力を感じるまちになるために、企業誘致や起業支援などにより、だれもが活躍できるしごとづくりに取り組むとともに、本市の特色（強み）を生かした稼げる仕組みを作り出し、新たな人の交流や流入によって活気とにぎわいのあるまちづくりに取り組みます。	④活力を生み出す「しごと」づくりプロジェクト ⑤強みを生かした「稼げる」産業振興プロジェクト ⑥新たな人が集まる魅力づくりプロジェクト	市民アンケート調査における「産業振興」施策の満足度	平均値以上 (2.31/ 平均2.45)
			新たな移住者（UIターン）数	400人 (-)
笑顔で暮らせる地域共生の社会づくり	住み慣れた地域において、笑顔で健康に生き生きと暮らし続けられるよう、あらゆる世代のだれもが、地域社会全体で支え合えるまちづくりに取り組みます。	⑦住み慣れた地域で暮らせる社会づくりプロジェクト ⑧笑顔で暮らせるスポーツ・健康推進プロジェクト ⑨共に支え合う地域づくりプロジェクト	市民アンケート調査で「ずっと住み続けたい」「どちらかといえど住み続けたい」と答えた割合	80.0% (75.4%)
			65歳以上人口に占める要介護（支援）認定者（第1号）の割合（年度末時点）	13.4% (13.4%)
自然豊かで快適な強いまちづくり	だれもが安心して暮らせる強いまちづくりを進めるため、豊かな自然環境を守るとともに、自然災害から市民の生命と財産を守るために、自助・共助・公助による災害対応力の強化に取り組みます。 また、人口減少が進んでも、住み慣れた場所で快適に住み続けられる環境を維持するために、利便性の高いコンパクトなまちづくりや交通ネットワークの構築に取り組みます。	⑩助け合い災害に強いまちづくりプロジェクト ⑪便利で住みやすいまちづくりプロジェクト ⑫自然が残る美しいまちづくりプロジェクト	市民アンケート調査で「住みやすい」「まあまあ住みやすい」と答えた割合	85.0% (82.0%)
			ごみ総排出量のうちのリサイクル率（年度末時点）	25.0% (19.3%)

数値目標	基準値 (R1)	目標値 (R6)
市内から通学する高校3年生のうち「将来日向市に住みたい」と答えた割合	26.0%	30.0%
「日向市が好き」と答えた中学生の割合	82.4%	88.2%
合計特殊出生率	1.81	1.83
新規企業の立地及び既存企業の増設等に伴う新規雇用者数（計画期間の累計）	338人	200人
新規就農者数（計画期間の累計）	13人	38人
観光入込客数（年間）	1,486,000人	1,532,000人
65歳以上人口に占める要介護（支援）認定者（第1号）の割合（年度末時点）	13.4%	13.4%
大腸がん検診受診率（年度末時点）	7.8%	12.0%
スポーツ施設の利用者数（年間）	233,817人	234,000人
自治会（区）加入率（年度末時点）	67.4%	67.0%
地域防災訓練などへの参加者数（年間）	19,780人	25,000人
老朽化が著しい空き家の件数（年度末時点）	258件	150件
ごみ総排出量のうちのリサイクル率（年度末時点）	19.3%	25.0%

1. 未来へつなげる人づくり戦略

	重点プロジェクト	基本的な方向性	具体的な施策	重要業績評価指標（KPI）	基準値（R1）	目標値（R6）
1	未来を支える「ひょうがっ子」育成プロジェクト	- 学校・家庭・地域が一体となって、生きる力を備えた未来を支える「ひょうがっ子」を育成します。 - コミュニティ・スクール制度により、特色ある学校づくりを推進します。 - 小・中学校の系統性・一貫性のある教育に取り組みます。 - 学校ICTを活用した分かりやすい授業を展開し、子どもの学力向上に向けた - 教育の推進に取り組みます。 - 少子化を見据えた適切な通学区域の在り方について検討します。 - 児童生徒の心のケアの充実を図り、だれもが学べる教育環境の充実に取り組みます。 - 子どもから大人まで読書に親しむ機会の創出や環境の充実に取り組みます。	- 生きる力を育む教育の推進 - 魅力ある教育体制や環境の充実 - 地域が一体となった青少年の育成 - 読書活動の推進	授業の内容がよく分かったと答えた児童生徒の割合 不登校児童生徒が学校に復帰した割合 小学生、中学生が1か月間に読む読書冊数（平均）	89.0%	90.0%
2	安心して産み育てるみんなで子育てプロジェクト	- 妊娠期から子育て期にわたるライフステージごとに、切れ目のない医療や保健福祉サービスを提供し、安心して産み育てられる環境づくりに取り組みます。 - 子育て世代の経済的な負担の軽減や育児への不安軽減に向けた相談支援体制の充実、子育てと仕事が両立できる支援体制の充実に取り組みます。 - 結婚や出産をしても、女性が社会で活躍できる環境の充実に取り組みます。	- ヘルシースタート事業の充実 - 子育て世代の経済的な負担の軽減 - 子育て支援体制の充実 - 子育てと仕事の両立支援と環境の充実 - 女性の活躍推進	市民アンケート調査（女性の回答者）で「子育てがしやすいか」との間に「そう思う」「ややそう思う」と答えた割合 産後ケア事業や家事支援における満足度 放課後児童クラブ利用定員数（年度末時点） 特定教育・保育施設における利用定員数（年度末時点） 合計特殊出生率	41.0% （R1.9月） 87.9% 380人 2,400人 1.81	50.0% （R5.9月） 98.0% 580人 2,400人 1.83
3	ふるさとを愛する心豊かな人づくりプロジェクト	- 一人ひとりが人権尊重のまちづくりの基盤となる「豊かな人権感覚」を持ち、それぞれの能力を発揮できる社会づくりを推進します。 - すべての人が個人として尊重され、暮らしやすさを実感できる男女共同参画社会の実現に向けた学習機会の提供に取り組みます。 - 地域社会の一員として郷土を愛し、伝統を継承するため、郷土愛を育む教育を推進します。 - 学校と地域産業界が連携した、日向ならではのキャリア教育を推進します。 - 地域社会に貢献できる人材を育てるために、学校、関係機関、地域が連携し、市内の高校の魅力向上や生徒の学びを支援します。 - 若者の新たなチャレンジを後押しし、地域や産業を支える宝となる「人財」を育成するために、若者が自ら学び成長する場をつくります。	- 豊かな人権感覚を持った人づくり - 男女共同参画意識の醸成 - 郷土愛を育む教育の推進 - キャリア教育の充実 - 高校・高等専門教育機関への支援の充実 - 若者（ワケモン）の活躍支援	「人が困っているときは、進んで助けていますか？」との間に「とてもそう思う」「そう思う」と答えた児童生徒の割合 DV（デートDVを含む。）防止講座、啓発活動の実施回数（年間） 「日向市が好き」と答えた中学生の割合 学校給食食材に占める地産地消率 市内から通学する高校3年生のうち、「将来日向市に住みたい」と答えた割合 地域づくり人材セミナー等参加者数（累計）	91.7% 4回 82.4% 61.4% 26.1% （R1.9月） —	95.0% 6回 88.2% 64.0% 30.0% （R5.9月） 80人

2. 活力を生み出すにぎわいづくり戦略

	重点プロジェクト	基本的な方向性	具体的な施策	重要業績評価指標（K P I）	基準値（R 1）	目標値（R 6）
4	活力を生み出す「しごと」づくりプロジェクト	- 中小企業や小規模事業者の事業経営を守り、新たな企業誘致や地元企業の事業拡大などにより、若者や女性などが活躍できるしごと（雇用の場）を生み出し、産業人材の確保に取り組みます。 - 地元企業の販路拡大や新たな分野への進出、若者や女性の起業を後押しするために、コーディネーターを配置し、細やかな経営相談とフォローアップを行います。 - 都市部への人口流出を抑制し、ＵＩＪターンを促進するために、高校生・大学生、都市部の地元出身者に向けた情報発信や都市部での就職説明会を開催します。 - 全ての人々が自ら希望するバランスで仕事をすることができる環境をつくり、女性や高齢者、障がいのある人など多様な人材が活躍できる社会づくりに取り組みます。	- 若者や女性活躍できる企業誘致の推進 - 中小企業、小規模事業者への支援 - 産業人材の確保とだれもが働けるしごと環境の充実 - ワークライフ・バランスの推進	新規企業の立地及び既存企業の増設等の件数（累計）	—	20件
				新規企業の立地及び既存企業の増設等に伴う新規雇用者数（累計）	—	200人
5	強みを生かした「稼げる」産業振興プロジェクト	- 本市の特色（強み）を生かした産業の振興により、稼げるまちづくりに取り組みます。 - 重要港湾「細島港」の定期航路の充実と利用促進を図ります。 - 医療機器産業への研究開発支援や次代を見据えた強い産業の事業拡大、企業立地を支援します。 - 地域の特性を生かした農畜産物の安定的な生産や担い手の確保、農地の集積などに取り組みます。 - 安定した木材供給を行うために必要な生産基盤の充実や持続可能な森林経営の支援に取り組みます。 - 水産資源の保護・増殖や安全・安心な水産物の供給、持続可能で安定した漁業経営の基盤強化に取り組みます。 - 地域資源を生かした6次産業化や農商工連携、産学官連携による高付加価値化を推進し、ふるさと納税制度などを活用した地場産品の流通拡大を図ります。 - 観光客に選ばれ喜ばれるお土産物などの開発や観光イベントなどでのPRを支援します。	- 細島港の機能強化と物流の促進 - 強みを生かした新たな産業の拡大 - 農業の担い手確保と生産性向上 - 資源循環型林業システムの推進 - 水産資源の保護・増殖と経営基盤の強化 - 地場産品の流通拡大とふるさと納税制度の活用 - 観光4駅の活性化	コンテナ貨物取扱量（空コンテナを除く。）（年間）	21,411TEU	23,000TEU
				造林面積（年間）	48.0ha	65.0ha
				新規就農者数（累計）	—	20人
				農地中間管理事業の実施総面積	80.6ha	135.0ha
				J A日向におけるへべすの出荷量（年間）	83.0 t	200.0 t
				養殖岩ガキの生産量（年間）	32.0 t	42.0 t
				日向市漁業協同組合における総水揚額（年間）	2,984百万円	2,984百万円
				ふるさと日向市応援寄附金事業者数（年間）	45事業者	85事業者
				観光4駅の売上金額（年間）	486,170千円	501,000千円
6	新たな人が集まる魅力づくりプロジェクト	- 本市の恵まれた地域資源や伝統文化など、それぞれが持つ魅力を生かし、観光入込客や移住・関係人口の増加により新しい人が流れ込み、活気とにぎわいのあるまちづくりに取り組みます。 - 国内外に向けた観光プロモーションやサーフィンを生かした特色ある事業の展開、スポーツキャンプなどの誘致により、交流人口の拡大と地域活性化に取り組みます。 - 温暖な気候や豊かな自然環境、子育てしやすい環境など本市の特性を生かし、都市部からの移住定住を促進します。 「牧水のふるさと日向市」や国の重要伝統的建造物群保存地区美々津のまち並みを生かした観光交流人口の増加、空き家・空き店舗などの利活用によるにぎわいの創出や定住人口の増加を図ります。	- 地域資源を生かした観光交流の推進 - 広域観光圏による観光ルートの磨き上げと観光交流の拠点づくり - リラックス・サーフタウン日向の推進 - 牧水の生誕地・東郷を生かした魅力づくり - 重要伝統的建造物群保存地区「美々津」を生かした魅力づくり - スポーツタウン日向の推進 - 移住定住の促進 - 新たな関係人口の創出 - 新たな交流拠点の整備研究	観光入込客数（年間）	1,486,000人	1,532,000人
				サーフィン等利用客数（年間）	253,592人	260,000人
				市内宿泊者数（年間）	172,000人	177,000人
				新たな移住者数のうち、女性の占める割合※基準値H30～R2の平均	45.3%	50.0%

3. 笑顔で暮らせる地域共生の社会づくり戦略

	重点プロジェクト	基本的な方向性	具体的な施策	重要業績評価指標（KPI）	基準値（R1）	目標値（R6）
7	住み慣れた地域で暮らせる社会づくりプロジェクト	- 高齢者の社会参加と生きがいづくりを推進するとともに、「支える側」として活動できる機会の充実を図ります。 - 高齢者が住み慣れた地域で、可能な限り自分らしい生活を送ることができるように地域包括ケアシステムの深化・推進を図ります。 - 認知症になっても本人の意思が尊重され、住み慣れた地域で暮らし続けられるよう支援体制の構築に取り組みます。 - 地域医療・救急医療体制の充実を図ることにより、市民が住み慣れた地域で安全で安心に生活できるまちづくりに取り組みます。 - 東郷地域で持続可能な医療を提供するため、東郷診療所（仮称）の医師の安定確保や経営改善を図りながら、老朽化した施設の整備や在宅医療などの充実に取り組みます。 - 障がいのある人が、地域において、自分らしく、生きがいを持って活躍できるよう、相談支援体制の充実や社会・文化活動への参加促進に努めます。	- 高齢者の活動機会の充実 - 地域包括ケアシステムの深化・推進 - 認知症施策の充実 - 地域医療・救急医療体制の充実 - 障がいのある人への支援の充実 - ごみ等の排出困難者への支援の充実	生活支援サポーター養成者の総数 いきいき百歳体操実施地区（箇所）（年度末時点） 初期救急診療体制：月曜～金曜の夜間 二次救急医療体制：休日や夜間 東郷診療所（仮称）の整備 障がい者センター「あいとぴあ」の利用者数（人）	189人 76地区（83か所） 240日 365日 — 11,648人	280人 90地区（100か所） 244日 365日 供用開始 13,000人
8	笑顔で暮らせるスポーツ・健康推進プロジェクト	- 子どもから高齢者まで、健康で生き生きと元気に暮らし続けられるまちづくりに取り組みます。 - 市民一人ひとりが健康に関する意識を高め、生活習慣の改善に取り組めるよう「健康寿命の延伸」や「生活習慣病の発症予防と重症化予防」に向けた健康づくりに努めます。 - 自殺を予防するために、不安や悩みを抱えた人が相談できる窓口の周知やこころの健康についての知識の普及・啓発に努めます。 - 感染症に対する正しい知識の周知を図るとともに、感染症が発生した場合は、蔓延防止に取り組みます。 - スポーツを生かした市民の生きがいづくりや健康づくりに取り組みます	- 健康づくりの推進 - 自殺予防対策の充実 - 感染症予防対策の推進 - スポーツを生かした生きがいづくりや健康づくりの推進	特定健康診査受診率（年度末時点） 大腸がん検診受診率（年度末時点） 小学生の歯科治療率（年度末時点） スポーツ施設の利用者数（年間） 市主催のスポーツ教室等への参加者数（年間）	32.0% 7.8% 90.7% 233,917人 856人	40.0% 12.0% 93.0% 234,000人 920人
9	共に支え合う地域づくりプロジェクト	- 地域住民が健康福祉や子育て支援、防災活動などに自ら積極的に取り組む意識の醸成を図ることにより、地域コミュニティを基盤に互いに支え合いながら安全で安心に暮らせるまちづくりを推進します。 - 人口減少が特に進んでいる中山間地域の活性化を図ります。	- 地域コミュニティの維持、支援 - 地域福祉の推進 - 地区公民館の機能強化 - 中山間地域の活性化	市民アンケート調査（20歳から30歳までの回答者）で「ずっと住み続けたい」「どちらかといえば住み続けたい」と答えた割合 自治会（区）加入率（年度末時点） 過疎地域振興基金事業補助金を活用した事業数（年間）	64.0%（R1.9月） 65.9%（R2年4月） 6事業	70.0%（R5.9月） 67.0% 7事業

4. 自然豊かで快適な強いまちづくり戦略

	重点プロジェクト	基本的な方向性	具体的な施策	重要業績評価指標 (KPI)	基準値 (R1)	目標値 (R6)
10	助け合い災害に強いまちづくりプロジェクト	- 防災基盤の強化を図るとともに、地域が一体となり助け合う災害に強いまちづくりに取り組みます。 - 関係機関と連携をとり、情報伝達・収集の充実に努め、避難体制の強化を目指します	- 自主防災力の向上 - 消防団の機能充実 - 国土強靱化の推進	地域防災訓練などへの参加者数	19,780人	25,000人
				市防災情報配信サービス登録者 (年度末時点)	1,700人	2,200人
				地区防災計画の取組地区の総数	5地区	10地区
				消防団員の定数に対する充足率 (年度末時点)	94.2%	100%
				急傾斜地崩壊対策事業実施箇所 (累計)	—	2か所
11	便利で住みやすいまちづくりプロジェクト	- 人口減少が進んでも、医療や福祉、商業などの機能が集約され、高齢者や子育て世代が安心して快適な生活が送れるコンパクトなまちづくりに取り組みます。 - 市民が自由に移動できる交通手段を確保するため、地域公共交通の利便性向上に取り組みます。 - Society5.0時代に対応した情報通信技術（ICT）の利活用を推進します	- 快適で便利な都市・生活拠点の整備 - 地域公共交通の維持・確保 - 情報通信技術（ICT）利活用の推進	市民アンケート調査（女性の回答者）で「住みやすい」「まあまあ住みやすい」と答えた割合	81.9% (R1.9月)	85.0% (R5.9月)
				土地区画整理事業区域内の新築・増築件数 (累計)	—	85件
				日向市道路整備実施計画で予定している市道のうち、道路改良が完了した路線数	—	5路線
				市民バスの利用者数（年間）	81,096人	81,100人
12	自然が残る美しいまちづくりプロジェクト	- 本市の豊かな自然環境を後世に残すために、自然環境を守り、環境に優しいまちづくりに取り組みます。 - 持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けて官民で連携して取り組みます。 - 本市の宝である海岸線の地域資源を生かした良好な美しい景観形成に取り組みます。 - 市民生活に影響を及ぼす空き家の適正な管理・利活用や適切なごみ処理の促進に取り組みます。	- 自然に親しむ環境づくり - SDGsの推進 - ひゅうが海景の形成 - 空き家の適切な管理と利活用 - 適切なごみ処理の促進	市民アンケート調査で「環境にやさしいまちづくりが進んでいる」との問いに「そう思う」「ややそう思う」と答えた割合	39.6% (R1.9月)	45.0% (R5.9月)
				市と連携した植栽・花づくり活動への年間参加者数（累計）	—	4,500人
				SDGsセミナー参加者の満足度	—	90.0%
				クリーンアップ日向に参加した人数 (年間)	595人	600人
				ごみ総排出量（年間）	21,541.7 t	20,059.0 t
				老朽化が著しい空き家の除去件数（累計）	—	80件